



今、旅立ちのとき～卒業式～

まちがどスナツプ

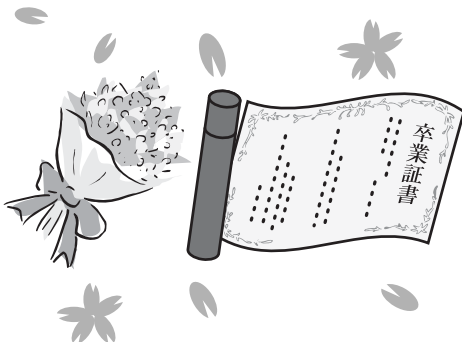
3月15日に市内の各中学校で、23日には各小学校で、それぞれ卒業式が行われました。中学校では841人の生徒が、小学校では829人の児童が、これまでの思い出と、新たな希望を胸に旅立っていきました。



3/15中学校卒業式(本庄南中)



3/23小学校卒業式(旭小)



3/10・11コミュニティまつり
(コミュニティセンター)



3/11東台会館まつり



どこでも、だれでも

生涯学習



3/17アメリカンフラワー教室
(児玉隣保館)



3/3・4中央公民館クラブ活動発表会



2/24・25藤田公民館作品展



3/18セルディファミリーコンサート



2/22ひな祭り料理教室(本庄西公)



3/3子ども体験教室(北泉公)

教育の再生に皆様の力を

「市長、子どもに向き合っている学校の先生方こそ、いま一番支援しなければなりませんよ。私のこの寄附は、ぜひ頑張っている先生方の応援のために使っていただきたい。」

旧児玉町の出身で現在青梅市で病院を経営されている小林先生が、市の教育のためにと、多額の浄財を寄附してくださいました。その際に先生から冒頭の言葉をいただきました。先生からのご寄附をきっかけに、本庄市では「教育振興基金」を設立しました。基金の詳細については、今後広報などでお知らせいたしますが、福祉の充実のための社会福祉協議会への寄附と同じように、広く教育の充実にお志ある方々からの温かい善意を受け付けてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育の問題は学校だけに責任を押し付けてもだめです。大切なのは責任のなすり合いを止め、学校・家庭・地域が次代を担う子どもたちの健全育成のため、お互いに支えあうことです。子どもたちを取り巻く環境が複雑多様化し、様々な方面から公教育への過度の要求がなされる中、いま学校現場の先生方は、子どもにじっくり向き合いたいと思ってもなかなか難しいのが現状です。先生の人件費は県から出されていますが、市としても先生や子どもたちのため、学校への人的支援について取り組みたいと考えました。財政的に非常に厳しいのが現状ですが、それでも本年度から「さわやか相談員」の増員など、市も独自の施策を始めます。今後このような人的支援にも、皆様からの温かい善意を活用できればと考えています。教育は長い年月をかけて効果が現れるものです。その再生に向けて、お志ある皆様のお力をどうぞお寄せください。

本庄市長 吉田信解



スポーツ

「初心者・初級者ゴルフ教室」、「エアロビクス教室」、「市民バスケットボール大会」などが開催され、たくさんの方々がさわやかな汗を流しました。



2/26初心者・初級者ゴルフ教室



3/9エアロビクス教室



3/21市民バスケットボール大会



野鳥の詩



メジロ 〈全長12cm〉

- 鳴き声 チーチュルチロルルチュルチー
- 撮影地 総合公園遊歩道



開花した桜の密を啄むメジロです。世に言うウグイス色は「メジロ」の黄緑色が正解で、ウグイスの体色は少し緑色がかかった茶褐色ですね。

また、仲間が止まっている枝に後から止まる時は両端ではなく無理やり間に入り込む習性があり、これが「目白押し」の語源です。鳴き声の聞きなしは「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」です。声に出してみると何となくそんな感じですね！

文・写真 町田好一郎

3月8日、市PTA連合会主催の『あいさつ推進運動標語・ポスターコンクール』で市長賞を受賞した児童・生徒4人に、市長から表彰状が贈呈されました。

“あいさつ”ちゃんとできていますか？



間近に見る遺跡に興奮!?

遺跡発掘見学会

「古代のロマンを感じる」3月13日、七色塚遺跡（東富田）において遺跡発掘見学会が行われ、たくさんの方が、古代の集落跡や出土品を興味深く見学しました。